

2号機原子炉格納容器内部調査（2回目） について

平成24年3月22日

東京電力株式会社



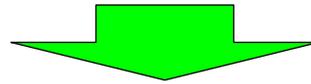
東京電力

1. 目的

【原子炉格納容器(PCV)内部調査(1回目)の結果】

2012年1月19日に2号機原子炉格納容器(PCV)内部調査(1回目)を実施。

- ・PCV内部の目視映像および雰囲気温度データを取得
- ・PCV内の滞留水の水位は確認できず



【PCV内部調査(2回目)の目的】

- 滞留水の水位・水温を確認し、原子炉設備の安定冷却が維持されていることを裏付ける
- 新たに、PCV内雰囲気線量を測定し、今後の廃炉に向けた取り組みに資する基礎データを取得する

2. 実施概要

実施予定日

3/26(月), 27(火)

調査項目

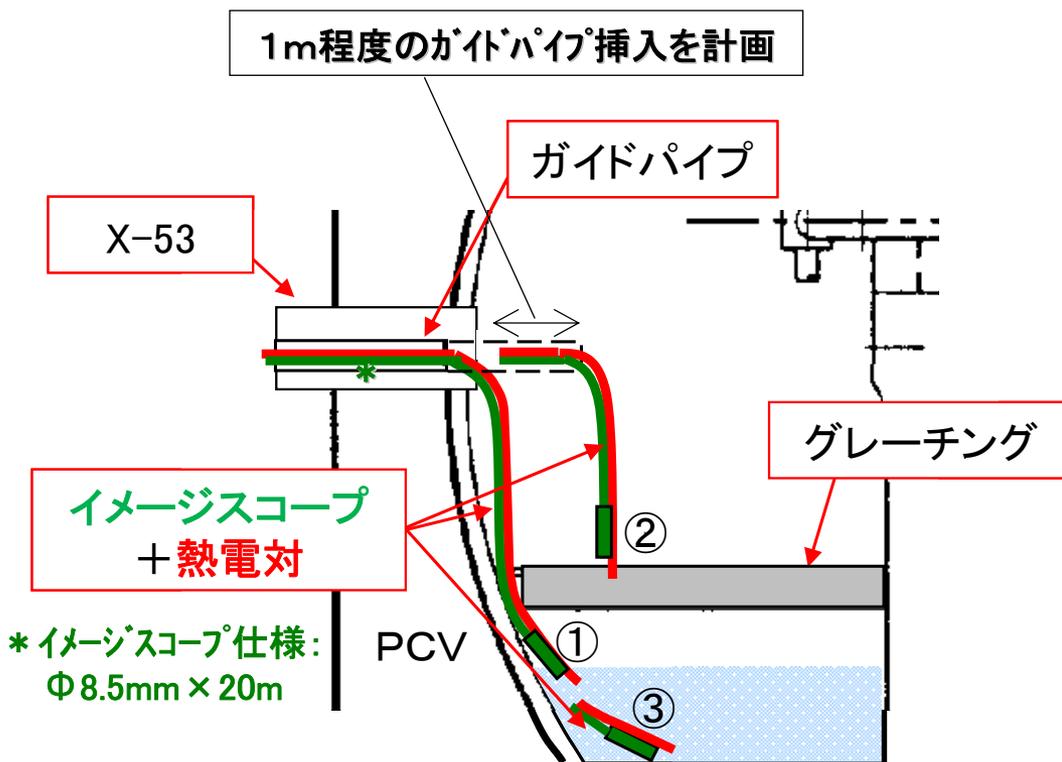
- ・滞留水の水位確認(実施予定日:3/26)
- ・滞留水の水溫測定(実施予定日:3/26)
- ・PCV内雰囲気線量測定(実施予定日:3/27)

計画線量

10 mSv/(人・日)

3. 調査内容（水位確認・水温測定）

1回目と同じPCV貫通部（X-53ペネ、原子炉建屋1階）から、イメージスコープと熱電対を挿入しPCV内滞留水の水位確認・水温測定を実施。

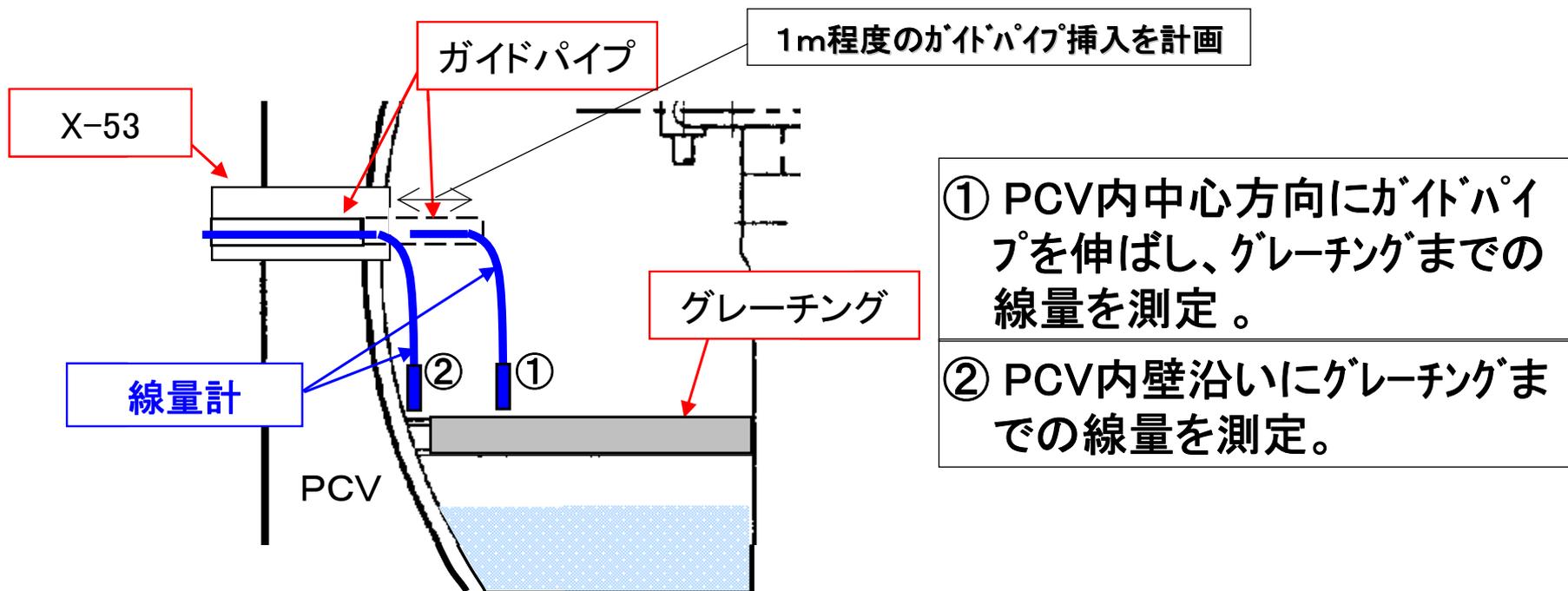


- ① PCV内壁とグレーチングの隙間もしくはPCV内壁近傍のグレーチング升目間を通し水面まで挿入。水位の確認および水温を測定。
- ② PCV内中心方向にガイドパイプを伸ばし、グレーチングまで挿入。雰囲気温度の測定および画像を取得。
- ③ ①と同じ位置から可能な範囲でPCV下部へ挿入し水温の測定および画像を取得。

イメージスコープ・熱電対挿入の概念図

4. 調査内容（雰囲気線量測定）

PCV貫通部（X-53ペネ、原子炉建屋1階）から、線量計を挿入し、PCV内の雰囲気線量を測定。



線量計挿入の概念図

(参考) ビデオイメージスコープ概要



表示部および操作部



カメラ先端部

<主な仕様>

挿入部の外径	Φ8.5mm(先端部外形：Φ12.7mm)
挿入部の有効長	20m
挿入部の使用温度範囲	～100℃（空气中）、～30℃（水中）
耐放射性	1000Gy

(参考) 線量計概要



<主な仕様>

電離箱

挿入部の外径	Φ7mm (最大径部Φ13.8mm)
測定範囲	0~1000Sv/h